

兵庫県 の 地震 活動

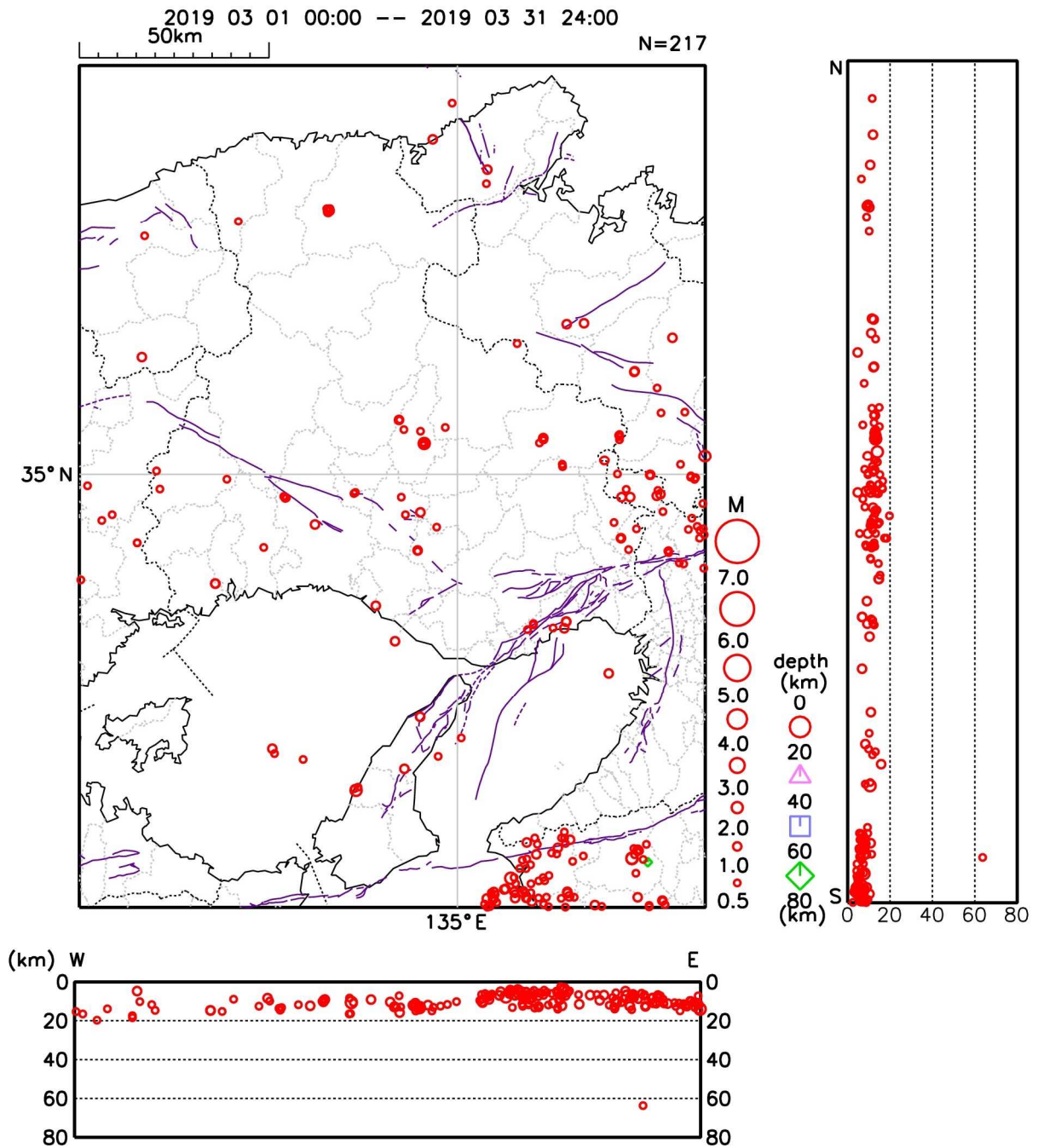
2019 年（平成 31 年）3 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
南海トラフ地震に関連する情報の名称について	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

—3月の概況—

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を1回観測しました。

13日13時48分 紀伊水道の地震（深さ43km、M5.3、前掲震央分布図範囲外）により、南あわじ市、淡路市で震度3、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、相生市、洲本市で震度2を観測したほか、兵庫県内の広い範囲で震度1を観測しました。

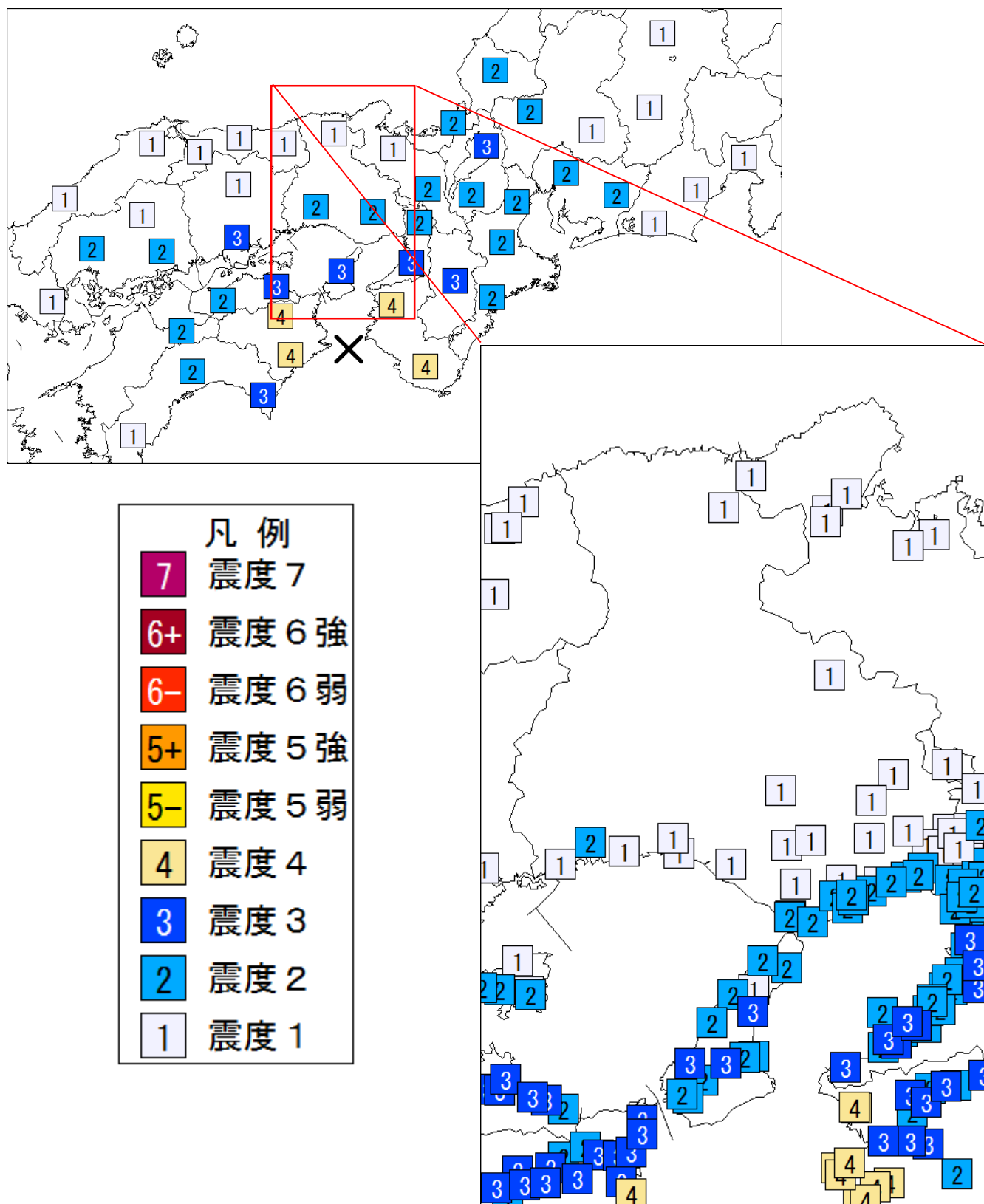
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時 震度（兵庫県内）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	全国最大震度
2019/03/13 13:48 兵庫県	紀伊水道	33° 48.0' N	134° 54.8' E	43km	M5.3	震度4
	震度 3 :	南あわじ市広田*, 南あわじ市湊*, 淡路市志筑*				
	震度 2 :	神戸東灘区住吉東町*, 神戸兵庫区烏原町*, 神戸兵庫区上沢通* 神戸長田区神楽町*, 神戸須磨区若草町*, 神戸垂水区日向* 神戸中央区脇浜, 尼崎市昭和通*, 明石市中崎, 明石市相生*, 西宮市宮前町 西宮市平木*, 芦屋市精道町*, 相生市旭, 洲本市物部, 洲本市五色町都志* 洲本市山手*, 南あわじ市福良, 南あわじ市北阿万*, 南あわじ市市* 淡路市富島, 淡路市久留麻*, 淡路市郡家*				
	震度 1 :	豊岡市桜町, 神戸灘区八幡町*, 神戸北区南五葉*, 神戸北区藤原台南町* 神戸西区竹の台*, 西宮市名塩*, 伊丹市千僧*, 加古川市加古川町 宝塚市東洋町*, 三木市細川町, 三木市福井*, 川西市中央町* 三田市下深田, 三田市下里*, 丹波市春日町*, 加東市社, 姫路市安田* 姫路市白浜*, 赤穂市加里屋*, たつの市御津町*, 淡路市長澤				

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

3月13日13時48分に発生した、紀伊水道の地震による震度分布図（上図：地域震度、下図：観測点震度）
 ×印は震央を表す



気象庁では、中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の報告書を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果を発表する情報の名称を決定しました。

気象庁では、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果について、平成 29 年 11 月から当面の間、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」及び「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」により発表することとしています。

今般、中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の報告書（平成 30 年 12 月、以下「WG 報告書」という）を踏まえて、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果について発表する情報の名称を、以下の通り決定しました。

- 情報の名称を「南海トラフ地震臨時情報」及び「南海トラフ地震関連解説情報」とします。
- 「南海トラフ地震臨時情報」には、情報の受け手が防災対応をイメージし、適切に実施できるよう、防災対応等を示すキーワードを情報名に付記します。
- 「南海トラフ地震関連解説情報」では、「南海トラフ地震臨時情報」発表後の地震活動や地殻変動の状況等を発表します。また、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における評価結果もこの情報で発表します。

詳細は表 1、表 2 のとおりです。また、この情報名称については、WG 報告書の「大規模地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合、該当するケースや、警戒のレベルに応じた防災対応が取れるよう、情報の内容等について名称や位置づけを検討することが必要」との指摘を踏まえたものです。

本情報の具体的な運用開始時期や発表方法については、決まり次第お知らせします。

なお、内閣府（防災担当）から公表された「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン（第 1 版）」には、南海トラフ地震に関連する情報発表の流れや、地方公共団体や企業等における防災対応の基本的な考え方や検討手順等が示されています。

表 1 南海トラフ地震に関連する情報の名称及び発表条件

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震 臨時情報	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震 関連解説情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合 ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

表2 「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワード

「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」に示された防災対応等にあたるキーワードを情報名に付記することを基本とします。

南海トラフ地震 臨時情報 (調査中)	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震警戒)	「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」において示された「半割れケース」に相当する現象と評価した場合
南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震注意)	「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」において示された「一部割れケース」／「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合
南海トラフ地震 臨時情報 (調査終了)	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

【参考】

- ・南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ（内閣府 HP）
http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/taio_wg_02.html
- ・南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン（第1版）（内閣府 HP）
<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/index.html>